



三陽魂



令和2年6月26日

保護者の皆様と学校が相互に積極的な協力を図り、様々な教育活動に助成をいただきながら教育の充実振興を図る後援会の総会が先週6月20日(土)に行われました。後援会総会の議事内容については、後援会資料をクラッシー及び保護者用Gメールに配信しておりますので、ご確認下さい。総会では校長挨拶の際に中村学園三陽中学・高等学校の近況について下記の内容についてご報告申し上げます。

- (1) 新型コロナウイルスとの共存と新しい学校生活様式への対応について
- (2) 令和2年度の学校行事予定について
- (3) 昨年度の進学実績について
- (4) 令和2年度の教育施策について

これらの内容については、ご出席いただけなかった保護者の皆様にもご承知おきいただきたいことが多々ございますので、今回「三陽魂 (スピリッツ)」と題した学校通信を配信することにいたしました。時間の関係上総会では触れることのできなかったことも含めて本校の近況についてご報告申し上げます。

1. 新型コロナウイルスとの共存と新しい学校生活様式への対応について

6月より通常授業を開始しておりますが、ご存じのように新型コロナウイルスの脅威はまだ続いております。これからは常に感染の危険性を意識しながら、「感染しない・感染させない」ことを重視し、新しい生活様式の実践に取り組まなければなりません。学校生活を送る上で注意しなければならないことは、以下のとおりです。

学校での新たな生活様式

- ・当分の間生徒は必ずマスクを着用することといたします。
 - ※マスクを忘れた生徒は売店で購入させています[50円]
 - ※学校から配付した布製マスクは必ず持参して下さい。
(6/26に2枚目の布マスクを配付しております)
- ・登下校時には必ず手の消毒を行うこと。(昇降口に消毒液を常備いたします)
- ・手洗いの励行 (ウイルス感染予防は消毒よりも手洗いの方が効果的なのだそうです)
- ・ソーシャルディスタンスの保持 (極力密になる状況避ける)
 - ※スクールバスや教室ではどうしても密になる状況が生じてしまいますが、マスクの着用、大声で会話しない等のマナーを守り予防に努めます。
- ・夏は熱中症予防のため、汗拭きタオル・水分補給用の水筒の持参をお願いいたします。
- ・エアコンを使用する場合は、随時窓を開けて空気の入替えを実施いたします。



ご家庭での注意事項

- ・毎朝健康状態の把握をお願いいたします。
 - 体温を測る（37.5度以上の熱は出校停止です）
 - 日頃と異なる自覚症状がないか（咳・息苦しい・倦怠感・頭痛等）
 - 味覚・嗅覚異常（におい・味がわからない）
- ・上記の症状が確認された場合は、登校を控えてお医者さんの受診をお願いいたします。

2. 令和2年度の学校行事について

2か月近くの臨時休業措置で、保護者の皆様は授業の遅れを懸念されていると思いますが、本校においてはオンライン授業や分散登校での授業時間の確保につとめた結果、大きな授業の遅れはありませんでした。しかし、全く支障がなかったわけでもなく、本年度は夏休みの期間を短縮することで臨時休業期間中の授業を補いたいと思います。

具体的には次のような行事の変更を決定いたしました。

- ① 1学期終業式・・・8月5日（水）、2学期始業式・・・8月18日（火）
- ② 1学期（8/5まで）は、毎週土曜日を出校日とする（特別時間割を組んで対応します）
- ③ 1学期期末考査（7/14[火]～7/17[金]）
- ④ 7月文化祭、9月体育大会は中止
（来年3月文化祭は実施予定、体育大会は代替案を検討中）
- ⑤ 修学旅行、中学平和研修等は7月末の新型コロナウイルスの感染状況を確認して、中止または延期の措置を決定する。



※ 2学期からは通常の体制に戻す予定です。（土曜日は第1・3・5週のみ出校となります）

※ 2学期以降の予定表は後日配付いたします

3. 2019年度進路実績について

昨年度は119名の卒業生がおりました。その進路先は次のとおりです。

（実際に最終進路に選んだ人数で、合格者数ではありません）

- 国公立大学：残念ながら現役で国公立大学に進学したものはおりませんでした。
- 私立大学 41名進学
（西南1名、福大5名、中村学園大学2名、九産大10名、その他23名）
- 短期大学 11名進学
- 海外大学（KCC）1名進学
- 専門学校 41名進学
- 就職 15名
- その他（浪人・未定）10名



しっかり生徒の学力を向上させて、第一志望が進路先となるよう教職員一同努力いたします。

4. 中村学園三陽中学高等学校の教育革新（イノベーション）

高大接続改革の趣旨を貫きます！

本年度に予定されていた高大接続改革では、“センター試験”が“全国大学入学共通テスト”と名称を変え、「英語4技能」及び「思考力・判断力・表現力」の向上を図るために、英語試験の民間委託や記述問題の導入等、入試の形態が大きく変わる予定でした。しかし、主要な改革はすべて延期となり、本年度受験を控えていた生徒（高3生）にとっては、混乱ばかりが残る結果となってしまいました。改革を進める方法に問題があったかもしれませんが、高大接続改革の目指すところは決して間違っていないと思います。社会のめまぐるしい変化に適応できる人材の育成、グローバル社会の進展にともなう語学力（特に英語）の育成は、知識や技能の修得だけに終始してきた日本の教育では限界が見えているからです。ですから「思考力・判断力・表現力」を育成し「主体的・協働的な深い学び」を実践するためにアクティブラーニングという手法が注目されるようになりました。語学力も辞書を片手に英文を読んだり書いたりするだけでは不十分で、リアルタイムに相手の言葉を聞いて理解し、自分の思いを自分の言葉で語れる語学力の習得が必要とされるのです。本年度も本校では高大接続改革の趣旨を貫き、「英語4技能」及び「思考力・判断力・表現力」の向上を図る教育に力を注いでまいります。

人間教育だけではなく、学力を向上させる学校に

「人間は頭の良し悪しや学力の優劣よりも、何よりも人物ができていることが基本である」

中村学園 学園祖中村ハル先生の言葉です。本校は長年人間教育に力を注ぎ、問題行動も少なく非常に落ち着いた学校として近隣の方々からは評価をいただいております。近年情報化社会・グローバル社会の急速な進展にともない、4年前からICT教育の導入（iPadを全生徒に配付）、中学のセブ島語学研修や高校の中長期留学制度の充実を図ってまいりました。このような先進的な取り組みの成果は着実に表れています。下図は本年3月新入生合格者説明会で披露した昨年度高1選抜クラス及び一般クラス（現在高校2年生）の1年間の成績の推移です。



回	4月 (Step4期)		7月 (Step4期)		8月 (Step4期)		11月 (Step4期)		1月 (Step4期)		1月 (Step4期)	
平均	D3		C3		D1		C3		D1		C3	
階級	人数	率値	人数	率値	人数	率値	人数	率値	人数	率値	人数	率値
A	1				1	1	1	1	1	1	2	2
	2						3	4	1	2		
	3											
B	1	1	6	6	1	2	1	5	4	2	6	8
	2	1	2	9	15	7	9	5	10	4	6	8
	3	5	3	18	1	10	4	14	6	12	9	25
C	1	8	13	6	24	6	16	4	18	18	30	30
	2	6	19	5	29	9	25	14	32	5	25	7
	3	15	34	14	43	21	46	13	45	13	48	11
D	1	5	39	15	58	38	84	14	59	34	82	12
	2	26	65	20	78	17	101	22	81	25	107	20
	3	66	131	26	104	26	127	21	102	20	127	11
Cut		26%	41%		36%		44%		38%		53%	
D3率		50%	25%		20%		21%		16%		12%	

選抜クラスは数学に関してほぼ国公立大学受験レベル（A段階）に近づいています。他の強化も着実に学力を伸ばしており、少数精鋭で鍛えられる選抜クラスの成果が出ています。一般生も入学当初は7割以上の生徒が“基礎基本を身に付けなければならないレベル（D段階）”でしたが、本校の教育を経て半分以上が“大学進学レベル（C段階）”に到達しています。

“有力な私立大学合格レベル（B段階）”の層も増えており、今後の進学実績には大きな飛躍が期待できそうです。このように生徒は努力をして自身の成績を向上させております。

ですから、2020年度は教師もさらに努力を重ねて「教育力の向上」を図り、生徒と共に成長することを本校の教育革新(イノベーション)の大きな柱に掲げました。

本年度はアクティブラーニング&ループリック評価を推進します



日常の学習活動においては「知識や技能の修得」にとどまらず、「思考力・判断力・表現力」「主体的に他と協働して深く学ぶ態度」を養うために、“アクティブラーニング”という生徒主体の学習活動を積極的に実施いたします。さらに生徒の評価については単に考査の成績だけで評価するのではなく、日ごろの授業に取り組む態度、学習活動の成果(課題)等を評価の対象とし、生徒がどれだけ努力をしたのか、どこまで目標を到達できたのかを評価(ループリック評価)するようにいたしました。本校の授業のシラバスとループリック評価については、下記のホームページに公開しておりますのでぜひご覧ください。

【シラバス&ループリック評価】

<http://www.nakamura-sanyo.ed.jp/topics/detail/?masterid=1879>

2020年度から『総合的探究の時間』が始まります(高校)

「総合的な探究の時間」は、与えられたテーマから、自分で課題を見つけて調べ、その解決策を見出そうとする学習です。課題を設定する⇒その課題について自分の力で調べる⇒考察してまとめる。これを繰り返すことで、「自分で問題を解決する力」が身に付きます。

- 本校の総合的探究の時間のテーマは、「持続可能な開発目標」(SDGS: Sustainable Development Goals)からテーマを選択します。探究の時間は高1・高2・高3生が混在してグループを編成し探究活動を実施します。



(奇数土曜日3・4限目が総合的探究の時間となっています)

- 総合的探究の時間には「中村学園育成型入試」を目指す生徒を対象とし、企業レポートの作成・論文指導等を実施する探究グループもあります。

※中村学園大学流通科学部志望者はぜひこのグループに参加を希望して下さい。中村

学園大学の先生方にも来校いただき体験授業なども計画いたします。

- 令和3年3月の文化祭でそれぞれのグループの探究成果の発表を予定しています。
- 探究活動の成果はポートフォリオとして保存し、上級学校への進学時に学習の成果として報告・活用できるようにいたします。

英語はICTを活用して楽しく実践的に学びます



英語の学習では、毎日継続的に目や耳から英語をシャワーのようにインプットすることが大切です。そのような英語学習活動を実践するために、本年度から英単語のEラーニングを開始しました。毎日覚える英単語は10個ですが、覚えた単語を英文や音声で理解する練習を繰り返します。確認テストを受験しますが、合格(10点中8点以上)するまで何度も繰り返し受験でき、英語の不得意な生徒も単語帳を見ながらやってもよいので、努力をすれば必ず合格できます。(努力の成果が良い評価に結び付くようにしているのです)ま

た、英語の授業では楽しい動画教材、オンライン英会話、海外留学生とのネット交流等、実践的に英語を学ぶ機会を増やします。(中学) セブ島語学研修・(高校) ニュージーランド/オーストラリア中長期海外留学制度・(高校卒業後) ハワイカピオラニコミュニティーカレッジ(KCC) への進学も、本校ならではの英語強化策であり、世界に目を向け世界で活躍できる人材育成に力を注ぐ証しでもあるのです。

保護者の ICT 活用も推進してまいります

本年度 10 月から福岡市が事業所から出るゴミの分別ルール変更にもとない、学校での古紙の分別回収が義務化されます。そこで本校でも ICT の活用によりペーパーレス化を推進し、極力古紙を出さない仕組みを構築することといたしました。

これまで毎週金曜日定期的にメールマガジンを配信し、学校情報の提供に努めるとともに、学校から案内プリント等を配付しクラッシーでもご覧いただけるようにしておりました。これからはプリント類の配付を極力控え、プリント類はクラッシー及び保護者専用メールへの配信のみに移行いたします。保護者専用メールは本校が保護者のために作成した Google アカウントを利用していただくことで利用できるメールです。この Google アカウントを使えば「三陽高校保護者用ポータルサイト(<http://sunyo.sakura.ne.jp/portal/parent/>)」の利用も可能となり、これまで紙で提出していただいていた欠席・遅刻・早退届や各種申し込み等をすべてウェブ上で処理できるようになります。

※本校の作成した Google アカウントは末尾が "@nakamura-sanyo.ed.jp" で終わるアカウントです。個人でお持ちの Google アカウント(末尾が "@gmail.com")とは異なりますのでご注意ください。



※個別に配信が必要なもの(徴収金のお知らせ、各種システムの ID やパスワード等)はすべて保護者用 G メールに配信されますので、ご承知おき下さい。

教育雑感

新型コロナウイルスで始まった 2020 年度。大変なことも多かったのですが、教育のあり方を深く考える機会を得ることができました。この「三陽魂」でも紹介した本校の教育革新(イノベーション)構想は、ICT の導入を決定した 4 年前から構想を開始し、本年度から推進される予定であった高大連携改革に向けて追加・修正を加えて一步を踏み出したものです。「高大接続改革の趣旨を貫く!」というスローガンは、これまで育んできた教育革新構想が決して間違っていないこと、確固たる意志を貫くことで中村学園三陽中学高等学校のさらなる特色化が加速されることを確信し掲げられたスローガンです。

生徒には三陽魂(スピリッツ)として「すぐやる・必ずやる・できるまでやる」ということを事あるごとに求めてきました。生徒だけではなく本校教職員も教育革新(イノベーション)実現のために「すぐやる・必ずやる・できるまでやる」を実践してまいります。

今後も本校の教育活動に対し、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

